

ぼ だいいん しほんちゃくしよくねほん ごくらく じごくえず
菩提院の紙本著色涅槃・極楽・地獄絵図



△涅槃絵図



△極楽絵図



△地獄絵図

<涅槃絵図>

涅槃とは、梵語のニルヴァーナの音写で、吹き消すこと、または吹き消した状態が原意。

中央に床座をおき、その上に向かって左（北）を枕にして西向きに横たわる金色身の釈尊を描き、その周囲に入滅を泣き悲しむ諸菩薩・弟子・諸衆などを配している。

<極楽絵図>

極楽浄土では、諸事円満にして生死・寒暑・憂悩等の衆苦はなく、ただ楽しみがあるとされる。迎えてくれた阿弥陀如来が、さらに解脱のために説法をしてくれる。その世界を表した絵図である。

<地獄絵図>

様々な地獄を合わせて百三十六地獄あるという。

極楽浄土への願いの裏返しとして、人々が恐れた地獄を絵図に示したものである。